

科 目	音楽 I	単 位 数	2 単位	年 間 授 業 時 間 (予 定)	7 0 時間
対 象 学 年 ・ (組)	1 年 (1 ~ 6 組)	使 用 教 科 書 (出 版 社)	Music View		
	必 修	補 助 教 材 等			

教 科 担 当 者

指導内容	具体的な指導目標	指導内容	具体的な指導目標	指導内容	具体的な指導目標
4 月	オリエンテーション 正しい発声 楽典の基礎 平易な合唱	ギター演奏の導入と 練習 三部合唱	ギターの導入。楽器の注意。チューニング。 タブ譜の読み方。	鑑賞と合唱	様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	姿勢や呼吸などに留意し、豊かな声が出るようにする。基礎的な楽典を理解し、実際に生かせるようにする。		タブ譜の読み方。練習の仕方。少し難しい合唱に挑戦する。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	姿勢や呼吸などに留意し、豊かな声が出るようにする。基礎的な楽典を理解し、実際に生かせるようにする。		タブ譜の読み方。練習の仕方。少し難しい合唱に挑戦する。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	姿勢や呼吸などに留意し、豊かな声が出るようにする。基礎的な楽典を理解し、実際に生かせるようにする。		タブ譜の読み方。練習の仕方。少し難しい合唱に挑戦する。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
5 月	三部合唱の導入 ハーモニーとは クラッピングミュージック	ギターの練習 三部合唱	指揮者がリードする合唱を目指す。聴衆に訴える作品とはなにか。考えて実行できるようにする。ギターの課題の設定と練習。	鑑賞と合唱	様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	リズムとは何かを理解させる。ボディーパーカッションを通して、リズムアンサンブルを楽しむお互いのハーモニーを聞きあう。		指揮者がリードする合唱を目指す。聴衆に訴える作品とはなにか。考えて実行できるようにする。ギターの課題の設定と練習。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	リズムとは何かを理解させる。ボディーパーカッションを通して、リズムアンサンブルを楽しむお互いのハーモニーを聞きあう。		指揮者がリードする合唱を目指す。聴衆に訴える作品とはなにか。考えて実行できるようにする。ギターの課題の設定と練習。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	リズムとは何かを理解させる。ボディーパーカッションを通して、リズムアンサンブルを楽しむお互いのハーモニーを聞きあう。		指揮者がリードする合唱を目指す。聴衆に訴える作品とはなにか。考えて実行できるようにする。ギターの課題の設定と練習。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	リズムとは何かを理解させる。ボディーパーカッションを通して、リズムアンサンブルを楽しむお互いのハーモニーを聞きあう。		三部合唱の完成。ギターのコードネームの説明と演奏。コードネームの曲への生かし方。		様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
6 月	指揮者の役割 指揮を通して合唱を作る クラッピングミュージック	ギターの練習 キーボード導入 四部合唱	四部合唱に向けて男子のパート分け。ギターを二人で演奏するときの留意点。平易なアンサンブル。	鑑賞と合唱	様々な国、時代の音楽を学び、実際に音楽を聴いて感想が言えるようにする。難易度の高い合唱に挑戦する。
	クラッピングミュージックの完成。校歌の暗記。指揮者を付けて合唱をする。指揮者の役割を理解する。		四部合唱に向けて男子のパート分け。ギターを二人で演奏するときの留意点。平易なアンサンブル。		三学期の反省とまとめ
	クラッピングミュージックの完成。校歌の暗記。指揮者を付けて合唱をする。指揮者の役割を理解する。		四部合唱に向けて男子のパート分け。ギターを二人で演奏するときの留意点。平易なアンサンブル。		1年間の反省とまとめ
	アンサンブルの目標は何か理解させる。お互い聞きあい、高めあい、目標に近づけるかどうか考えさせる。		ギター試験。		
	アンサンブルの目標は何か理解させる。お互い聞きあい、高めあい、目標に近づけるかどうか考えさせる。		キーボード導入と曲の練習。		
7 月	クラッピングミュージックの完成 1学期のまとめ 2学期の導入	キーボード 四部合唱	パートの試験。正しく合唱のパートが歌えているか。	【評価の観点・方法】 〔評価の観点〕 授業に積極的に参加していたか、真面目な努力を怠らなかったか。こちらの意図を理解していたか。 〔評価方法〕 個々の試験ごとに採点する。能力だけではなく、努力したことも評価できるようにする。また、授業の参加状況も考慮する。	
	クラッピングミュージックを通してボディーパーカッションとは何か考えさせる。聴衆の前で発表し、互いのグループの作品を聞きあう。		キーボードの練習・試験。二人で連弾に挑戦。		
	1学期のまとめ・反省と2学期行うことの説明		キーボードの練習・試験。二人で連弾に挑戦。		
			2学期のまとめ。3学期へ向けて。		